



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 新明和工業株式会社

コード番号 7224 URL <http://www.shinmaywa.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 大西 良弘

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 人事総務部長

(氏名) 西岡 彰

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日

TEL 0798-56-5002

平成25年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	72,507	11.7	3,970	125.8	4,102	127.1	2,797	△50.6
25年3月期第2四半期	64,905	40.5	1,757	—	1,806	—	5,662	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 3,516百万円 (△34.7%) 25年3月期第2四半期 5,381百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	28.06	—
25年3月期第2四半期	56.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	153,705	92,047	59.8
25年3月期	155,248	89,035	57.3

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 91,952百万円 25年3月期 88,941百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	168,000	11.3	8,300	42.1	8,600	32.7	5,500	△51.6	55.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期2Q	100,000,000 株	25年3月期	100,000,000 株
26年3月期2Q	298,065 株	25年3月期	291,549 株
26年3月期2Q	99,705,055 株	25年3月期2Q	99,727,940 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 2 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長期化する欧州債務問題や新興国経済の成長鈍化、米国の財政問題などによる海外景気の下振れによる影響が懸念されるものの、日本政府の経済政策や金融緩和策により輸出企業を中心に企業業績の改善がみられ、雇用情勢や個人消費も改善しつつあるなど、回復の兆しが見える中で推移いたしました。

こうした中、当社グループは、中期経営方針の推進 2 年目を迎え、重点施策である「一定規模以上の収益を継続して創出できる体制の構築」に向け、基盤となる主要事業に経営資源を集中し、世の中の変化や多様化する顧客要求に適応する製品・サービスの創出に努めてまいりました。

当第 2 四半期連結累計期間の業績につきましては、特装車セグメントにおいて、主要製品の需要が高水準を維持したことや、平成 25 年 1 月 1 日付で富士重工業(株)から譲り受けた塵芥車事業が業績に寄与したことに加え、航空機セグメントにおいてボーイング社「787」向け主翼スパーの納入数が増加したことなどや円安効果により、受注高は 93,033 百万円(前年同期比 14.3%増)、売上高は 72,507 百万円(前年同期比 11.7%増)となりました。

また、損益面では、増収及び円安効果により航空機セグメントの採算性が向上したことなどから、営業利益は 3,970 百万円(前年同期比 125.8%増)、経常利益は 4,102 百万円(前年同期比 127.1%増)といずれも前年同期と比べて増加いたしました。四半期純利益は、子会社取得に伴う「負ののれん発生益」を計上した前年同期からは減少し、2,797 百万円(前年同期比 50.6%減)となりました。

当社グループのセグメント別経営成績の概況は次のとおりであります。なお、各セグメントの受注高及び売上高には、セグメント間の内部受注高及び内部売上高を含んでおります。また、文中の受注(高)及び売上(高)の増減は、前年同期との比較であります。

航空機セグメント

防衛省向けでは、固定翼哨戒機「P-1」及び次期輸送機「XC-2」向けコンポーネントの受注が寄与した前年同期に比べ、受注は減少したものの、「P-1」「XC-2」関連の売上やUS-2型救難飛行艇の修理作業が増加したことにより、売上は増加いたしました。

一方、民需関連は、ボーイング社「787」向け主翼スパーの受注及び納入数が増加したことなどや円安効果により、受注、売上ともに大幅に増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は 16,286 百万円(前年同期比 17.9%増)、売上高は 15,686 百万円(前年同期比 50.5%増)となり、営業利益は 2,766 百万円となりました。

特装車セグメント

車体等の製造販売は、震災復興関連需要等の継続により大型ダンプトラック等の主要製品が好調に推移したことに加え、富士重工業(株)から譲り受けた塵芥車事業が業績に寄与し、受注は大幅に増加し、売上も増加いたしました。

保守・修理事業は、受注、売上ともに増加し、林業用機械等は、前年同期並みとなりました。

この結果、当セグメントの受注高は43,372百万円(前年同期比28.4%増)、売上高は33,391百万円(前年同期比9.5%増)となり、営業利益は2,135百万円(前年同期比7.1%減)となりました。

産機・環境システムセグメント

流体製品は、大口案件の寄与などにより、受注は増加し、売上は前年同期並みとなりました。

メカトロニクス製品は、自動車産業向け自動電線処理機の需要は高水準で推移したものの前年同期には及ばず、受注は減少し、売上は前年同期並みとなりました。

一方、環境関連事業は、受注は増加したものの、売上は減少いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は13,022百万円(前年同期比5.8%増)、売上高は7,946百万円(前年同期比5.1%減)となり、営業損益は370百万円の損失となりました。

パーキングシステムセグメント

機械式駐車設備は、大口案件の寄与により受注は増加し、売上は前年同期並みとなりました。

また、航空旅客搭乗橋「パックスウェイ」は受注、売上ともに減少いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は15,404百万円(前年同期比2.1%増)、売上高は11,224百万円(前年同期比4.0%減)となり、営業利益は145百万円(前年同期比72.0%減)となりました。

その他

建設事業は受注は減少したものの、売上は増加し、当セグメントの受注高は6,527百万円(前年同期比16.4%減)、売上高は5,743百万円(前年同期比9.4%増)となり、営業利益は191百万円(前年同期比36.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末における総資産は、たな卸資産は増加したものの、売上債権や現金及び預金が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べて1,542百万円減少し153,705百万円となりました。負債は、仕入債務の減少や、長期借入金の返済、法人税等の納付などにより、前連結会計年度末に比べて4,555百万円減少し61,658百万円となりました。純資産は、四半期純利益を計上したことなどにより、前連結会計年度末に比べて3,012百万円増加し92,047百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の57.3%から59.8%に上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年10月30日に公表した業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成25年 9 月30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,811	12,324
受取手形及び売掛金	58,916	52,817
商品及び製品	2,559	2,818
仕掛品	20,635	25,460
原材料及び貯蔵品	12,365	13,132
その他	5,992	5,344
貸倒引当金	△59	△43
流動資産合計	115,222	111,853
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,521	11,810
その他（純額）	14,754	15,220
有形固定資産合計	26,275	27,030
無形固定資産	1,268	1,396
投資その他の資産		
その他	12,578	13,515
貸倒引当金	△96	△90
投資その他の資産合計	12,481	13,424
固定資産合計	40,026	41,851
資産合計	155,248	153,705

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成25年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,900	24,116
1年内返済予定の長期借入金	2,000	2,000
未払法人税等	1,402	785
製品保証引当金	18	17
工事損失引当金	1,718	1,900
その他	14,873	13,832
流動負債合計	45,914	42,652
固定負債		
長期借入金	6,000	5,000
退職給付引当金	9,676	9,837
その他	4,622	4,168
固定負債合計	20,299	19,005
負債合計	66,213	61,658
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,981	15,981
資本剰余金	15,737	15,737
利益剰余金	56,901	59,201
自己株式	△120	△125
株主資本合計	88,500	90,794
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	876	1,362
土地再評価差額金	△383	△383
為替換算調整勘定	△52	179
その他の包括利益累計額合計	440	1,157
少数株主持分	93	95
純資産合計	89,035	92,047
負債純資産合計	155,248	153,705

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
売上高	64,905	72,507
売上原価	54,127	59,238
売上総利益	10,778	13,269
販売費及び一般管理費	9,020	9,299
営業利益	1,757	3,970
営業外収益		
受取利息	9	15
受取配当金	33	38
負ののれん償却額	73	—
持分法による投資利益	22	34
為替差益	—	27
その他	81	82
営業外収益合計	221	198
営業外費用		
支払利息	31	24
為替差損	89	—
休止固定資産費用	12	14
その他	38	27
営業外費用合計	172	65
経常利益	1,806	4,102
特別利益		
負ののれん発生益	4,445	—
退職給付制度移行益	—	445
特別利益合計	4,445	445
特別損失		
固定資産処分損	61	83
投資有価証券評価損	28	—
特別損失合計	89	83
税金等調整前四半期純利益	6,162	4,465
法人税、住民税及び事業税	691	807
法人税等調整額	△183	868
法人税等合計	508	1,676
少数株主損益調整前四半期純利益	5,653	2,789
少数株主損失 (△)	△8	△8
四半期純利益	5,662	2,797

四半期連結包括利益計算書
第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,653	2,789
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△269	485
為替換算調整勘定	△9	136
持分法適用会社に対する持分相当額	7	105
その他の包括利益合計	△272	727
四半期包括利益	5,381	3,516
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,384	3,515
少数株主に係る四半期包括利益	△3	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,162	4,465
減価償却費	1,772	1,927
負ののれん発生益	△4,445	—
売上債権の増減額 (△は増加)	13,865	6,317
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,317	△5,754
仕入債務の増減額 (△は減少)	△872	△1,972
その他	△3,164	△1,876
小計	7,999	3,107
利息及び配当金の受取額	115	130
利息の支払額	△31	△24
法人税等の支払額	△951	△1,384
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,132	1,829
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,329	△2,505
無形固定資産の取得による支出	△216	△304
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△107	—
その他	△146	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,800	△2,805
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△7,000	—
長期借入れによる収入	17	—
長期借入金の返済による支出	△1,000	△1,000
少数株主からの払込みによる収入	37	—
配当金の支払額	△498	△498
少数株主への配当金の支払額	△5	—
その他	△178	△192
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,627	△1,691
現金及び現金同等物に係る換算差額	10	201
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,285	△2,466
現金及び現金同等物の期首残高	19,855	14,790
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△143	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,426	12,324

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	航空機	特装車	産機・環境 システム	パーキング システム	計				
売 上 高									
外部顧客への売上高	10,421	30,457	8,369	11,684	60,934	3,970	64,905	—	64,905
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	31	3	5	40	1,277	1,317	△1,317	—
計	10,421	30,489	8,373	11,690	60,974	5,248	66,222	△1,317	64,905
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	219	2,297	△481	518	2,554	140	2,694	△936	1,757

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△936百万円には、セグメント間取引消去△7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△928百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的試験研究費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

平成24年 4 月 2 日付で、東邦車輛(株)、東京エンジニアリングシステムズ(株)及び東京パーキングシステムズ(株)が連結子会社となりました。これにより、前連結会計年度の末日に比べて、当第 2 四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「特装車」セグメントにおいて12,506百万円、「パーキングシステム」セグメントにおいて6,743百万円それぞれ増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

平成24年 4 月 2 日付で、東邦車輛(株)、東邦車輛サービス(株)、東京エンジニアリングシステムズ(株)及び東京パーキングシステムズ(株)の全株式を取得したことによる負ののれん発生益は、「特装車」セグメントにおいて4,136百万円、「パーキングシステム」セグメントにおいて308百万円であります。

当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	航空機	特装車	産機・環境 システム	パーキング システム	計				
売 上 高									
外部顧客への売上高	15,686	33,386	7,945	11,219	68,237	4,270	72,507	—	72,507
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5	1	5	11	1,473	1,485	△1,485	—
計	15,686	33,391	7,946	11,224	68,248	5,743	73,992	△1,485	72,507
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	2,766	2,135	△370	145	4,676	191	4,868	△898	3,970

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△898百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△905百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的試験研究費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。